

広報 いずも

第26号 平成18年(2006)4月13日発行

真に心豊かで 活力ある出雲の創造

新出雲市発足一周年記念式典を開催



(市長あいさつ)
3月22日 出雲市民会館

平成17年3月22日に誕生した新出雲市。ちょうど1年の節目として、3月22日出雲市民会館で新出雲市発足一周年記念式典を開催し、出席した約1,160人が新市のさらなる発展を誓いました。

まず、西尾市長が「21世紀の新出雲市が、西部日本海域の中心都市として羽ばたき、力強く前進、前進、また前進しようではありませんか」とあいさつしました。

その後、市民憲章を披露しました。市民憲章とは、一人ひとりが市民としての自覚と誇り、ふるさと出雲を愛する心を持つことによ

り、市民の一体感と新出雲市を共に創りあげていこうとする機運を盛り上げていくことを目的として制定したものです。

また、市内の小学5・6年生の学級単位で募集していた『わたしたちの市民憲章』は、73学級の応募の中から、最優秀賞と優秀賞を選定し、式典の中で発表しました。

合わせて、文化・教育・体育および社会の各分野において、優れた功績のあった個人や団体を表彰する『市民文化賞』の表彰も行いました。2〜4ページで式典の内容を詳しくお知らせします。



新出雲市発足1周年を記念して、「市の木」「市の花」「四季の花」を制定。式典に先立ち、市の木『黒松』の記念植樹を行いました(出雲市役所前ミニ公園)



出雲地域の中学生・高校生による出雲讃歌「天地のるつぼ」の合唱